行動計量学会報

日本行動計量学会事務局
〒152 東京都目黒区大岡山２－１２－１
東京工業大学 工学部 業桝研究室
発行 理事長　水野 欽司
題字　林 知己夫
編集　杉山 明子

理事長就任についてのご挨拶

水野　欽司

このたび、私は新理事会の指名により、今期の理事長の重任を担うことになりました。そもそも、理事長として千人を越える会員を統括する力量など、さらさらなく本来なら辞退すべきでありますが、理事の皆さんのご援助を頼みに、結局は任務を引き受けることになりました。どうかよろしくお願いします。

過去を振り返えってみると、行動計量学会が発足してから、間もなく２０年目になります。当時としては、珍しい学際的な学会として注目されたものでした。林知己夫先生を始めとする大先輩の先生方の熱意と努力により本学会をここまで育てて来てくれたことは、会員のだれもが知るところであります。

それゆえ、これを引き継ぐのは第２世代の方々の積極的な協力体制であるといえましょう。私もその中の一人です。そして、ただ単に従来の慣習に従うだけでなく、やるからには積極的な運営・活動を計って行きたいと思っています。

人間社会は、絶えず流動しております。それだけではありません。折りも折り、ここに来て、新しい複雑な国際政治や経済などを軸に、目まぐるしいスピードで世界が変貌しつつあります。また、地球規模の自然破壊、疫病、人為災害などに対し、国際的視点からも早急に問題解決を求められています。このように、現状を広く展望すれば、われわれが携わる〝行動計量学〟の研究活動に対して、早晩、人間社会に対する貢献を求められることになりましょう。

こうなると、単なる数学の論理だけに終わるわけにはいきません。本学会の〝行動〟の語に従うなら、実質科学としての実験・調査に基づいた研究活動を展開することになりましょう。しかしながら〝言うは易し〟で、実際となるとなかなか難しい事になります。たとえば、小規模の調査でデータをもとに、苦労して分析しても、個人レベルの研究では確かな結論が得られずに終わる例が多いのです。特に人文系の研究では、多くのデータを処理することになるため、個人では十分な分析ができないという結果になります。そうすると、規模の大きい研究グループを編成して、入念に検討しつつ、進めて行くことが必要でしょう。従って、強力な共同研究グループが、学会内にたくさん作られ、活発に研究交換を行うことができるなら、それは素晴らしいことと思います。

また、今後は、本学会の〝親戚〟といえる多くの学会との研究交流も大切なことになっていくでしょう。

さて、今期の新たな委員の人たちを含め、編集幹事会(和文誌および欧文誌編集)、運営委員会、刊行物委員会などの編成を終わり、すでに活動を開始しております。会員各位からの学会への要望があれば、どしどし各委員会に通報いただければ幸いです。そして私は、できる限り、この学会の興隆に向けて頑張る所存でおります。以上、簡単ながら理事長就任について、ご挨拶を述べさせて戴きました。

(みずの　きんじ、日本行動計量学会理事長、大学入試センター)

事務局の任期を終えて　江川　清

昭和の末期(63年4月)から平成の始め(本年3月)にかけて、事務局としていろいろ勉強させていただいた。この３年間の時間の流れは、あっという間だともいえるし、また逆に非常に長かったともいえるのであった。この間、小生のいたらぬせいで、理事長の肥田野直先生をはじめ会員の皆様に多々ご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げる次第である。

学会発足以来、運営委員として学会活動の末端に参画し、会報の編集にも携わった経験もあるので、学会の様子はある程度知っているつもりであった。しかし、前任者の岡太彬訓氏からの引継ぎの段階で早くも、事務局の仕事が想像以上に大変であることを思い知らされた。大小取り混ぜて、とにかく事務局のやるべき仕事の種類が多く、「事務局は学会の高等小遣い」という評を痛感した次第である。それにしても、岡太氏の綿密な引き継ぎ書がなければ、恐らくポカの連続であったと思われる。

さて、既報のように、この４月から事務局を東京工業大学の繁桝算男氏が引き受けられている。繁桝氏は小生よりも完璧に対処されると思われるが、会員各位のご協力をお願いいたしたい。

特にご協力いただきたいことは、「会報をよく読んでいただきたい」という一点につきる。すなわち、学会の諸活動や予定、また種々の事務手続きの方法などは、すべて会報に記載されているのである。これをご覧になって行動していただくだけでも事務局の雑務は随分軽減されるはずである。よろしくお願いしたい。

最後に、いちいちのお名前を挙げるのは差し控えるが、陰に陽に事務局を支えてくださった方々に感謝のお礼を申し述べたい。

(えがわ　きよし、日本行動計量学会理事、国立国語研究所)

事務局からのご挨拶　繁桝算男

本年度の４月１日から江川清先生の後任として事務局を担当することになりました。会員の皆様の相互のコミュニケーションや学会事務等が円滑にいくように微力を尽くしたいと思いますので、よろしくお願いします。

私は行動計量学会とはもともと縁があり、行動計量学会が誕生する以前の研究会等によく出席させていただいていました。その後、自分の研究方針にも迷いがあり、しばらく、行動計量学会から遠ざかっていた時期がありますが、このごろ、行動計量学的なアプローチがやはり自分に適っているのではないかと思っていたところですので、喜こんで事務局をお引き受けすることにしました。

江川先生からいろいろな引継事項がありましたが、そのときの一つの話題が近年会員数があまり増加していないという憂慮でした。日本ファジイ学会等は時流のせいもあってかもしれませんがわずか２年の間に1700名ぐらい会員(学生会員も含む)がいるようです。行動計量学会員の皆様は、人間を対象とする諸科学における計量的方法の意義について自信を持っていらっしゃる方ばかりと思いますので、周囲の研究者や学生に声をかけて下さり、行動計量学会にもっと沢山の若い人が会員として参加するようにお誘い下されば良いと思います。事務局への連絡としてFax や e-mail を利用できますのでこの件について、またその他の件につきましてもいろいろご意見をお聞かせ下されば幸いです。

(しげます　かずお　日本行動計量学会理事、東京工業大学　工学部)

第１９回大会のおしらせ

1991年8月28−30日, 名古屋大学工学部にて。特別講演は「地球大気の構造と地球環境」「大容量記憶媒体を用いたパソコン用統計データベース」、特別セッションは「都市景観」「画像認識の現段階」「魅力ある車造りへの多変量解析手法の活用」など。

学会の諸手続・連絡先

［会員の所属・住所などの変更］

◆変更・異動があった場合

①日本学術事務ｾﾝﾀｰ行動計量学会係に連絡する。

②必ずハガキによる。電話連絡は不可。

③本人氏名と会員番号を明記する。会員番号は、会員あての郵便物の宛名の右下に印字された１０桁の数字。

④変更した事項、異動内容を新旧の対比がはっきりわかるように書く。

［学会誌への投稿］

◆投稿は、和文誌・欧文誌の表紙裏に記載してある執筆要領によります。

◆和文誌への投稿は、原則として学会専用の原稿用紙を用います。専用原稿用紙を事務局（東工大・繁桝）で販売しますので、文書で申込み、振替送金して下さい。なお、ワープロによる原稿（１行２４字）も可です。

◆原稿の投稿先は、和文誌・欧文誌それぞれの編集幹事長です。

［学会誌の購読・購入］

◆会員以外方が学会誌を購読希望の場合は、

①和文誌は南窓社

②欧文誌は日本出版貿易

に申し込んで下さい。

◆学会誌・大会抄録集・講習会ﾃｷｽﾄのﾊﾞｯｸﾅﾝﾊﾞｰの照会・購入は、学会事務局（東工大・繁桝）で、文書にて受付けます。送金は、郵便為替を原則としますが、他の支払い方法を希望するときには、事務局まで文書でご連絡下さい。

会員事務

入会・退会の申込み 所属・住所の異動連絡 学会誌・会報などの発送 学会費の納入	〒113 東京都文京区弥生2-4-16 (財)日本学会事務センター　日本行動計量学会係 Fax 03-3817-5800　☎ 03-3817-5801 振替　東京 9-55247　日本学会事務センター

学会誌への投稿

和文誌 『行動計量学』への投稿	〒260 千葉市弥生町1-33 千葉大学理学部数学科 田栗正章（和文誌編集幹事長）
欧文誌 "Behaviometrika"への投稿	〒106 東京都港区南麻布4-6-7 統計数理研究所 村上征勝（欧文誌編集幹事長）

刊行物の購読など

和文誌 『行動計量学』の購読 欧文誌 "Behaviometrika"の購読	〒101 東京都千代田区西神田2-4-6 南窓社 ☎ 03-3261-7617 〒101 東京都千代田区猿楽町1-2-1 日本出版貿易（株）　☎ 03-3292-3751
大会発表抄録集の予約購入 講習会テキストの予約購入	各大会実行委員会の「大会案内」の指示による 講習会担当運営委員の「お知らせ」の指示による
学会事務 刊行物のﾊﾞｯｸﾅﾝﾊﾞｰの照会や購入 和文誌の原稿用紙の購入	〒152 東京都目黒区大岡山2-12-1 東京工業大学工学部 繁桝研究室 Fax 03-3729-1453　☎ 03-3726-1111(内)3240 e-mail KShigema@cc,titech,ac,jp 振替　東京 7-650152 日本行動計量学会
学会の公的所在地	〒106 東京都港区南麻布4-6-7 統計数理研究所

会議記録

★　第２回理事会

時：平成３年５月14日
所：統計数理研究所
出席者：水野理事長ほか８名

1. 各種委員会委員候補者を決定した。
2. 教育工学関連学協会連合第３回大会を協賛することとした。
3. 情報化社会と文化における統計の現状と未来展望事業（日本における統計学の学会活動６０周年記念事業）の共催団体になることを承認した。
4. 行動計量学会大会の発表資格について、口頭発表者及び連名発表者のうちの一人でも行動計量学会員がいれば、発表資格として充分であると判断することとした。

★　第３回理事会

時：平成３年７月22日
所：大学入試センター
出席者：水野理事長ほか11名

1. 担当理事から、平成２年度決算報告、平成３年度予算案が提出され、それぞれ承認された。
2. 吉村理事（第19回大会実行委員長）より、第19回大会の準備状況の報告があった。
3. 学会賞（功績賞及び優秀賞）受賞者を決定した。
4. 各種委員会報告が行われた。

委員名簿

＊は委員長幹事長

▼刊行物委員（ｱｲｳｴｵ順）

林知己夫（＊）　統計数理研究所
松原　望　東大教養学部
宮原英夫　北里大学医学部
安本美典　産能大経営情報学部
柳井晴夫　大学入試センター
山岡和枝　帝京大学法学部

▼和文誌編集幹事（ｱｲｳｴｵ順）

石塚智一　大学入試センター
市川雅教　東京外国語大
稲田　紘　循環器病センター
岩崎　学　防衛大数学物理教室
江川　清　国立国語研究所
大津起夫　北大文学部
大津展之　電子技術総合研究所
久保武士　筑波大臨床医学系
後藤昌司　塩野義製薬
駒沢　勉　統計数理研究所
小山照夫　学術情報センター
繁桝算男　東工大工学部
高橋伸夫　東大教養学部
田栗正章（＊）　千葉大理学部
竹谷　誠　拓殖大工学部
直井　優　阪大人間科学部
本多正幸　千葉大医学部
宮埜壽夫　千葉大文学部
村上　隆　名大教育学部

▼欧文誌編集幹事（ABC順）

江島伸興　九州東海大工学部
原科幸彦　東工大社会工学科
市川伸一　東工大総合理工学研
上笹　恒　筑波大哲学思想学系
岸野洋久　東大海洋研究所
熊谷康雄　国立国語研究所
丸山久美子　聖学院大政治経済学部
宮原英夫　北里大医学部
村上征勝（＊）　統計数理研究所
中村和男　工業技術院
根本敏則　福岡大経済学部
齋藤堯幸　北大文学部
新村秀一　住商コンピュータサービス
高木廣文　統計数理研究所
田中　豊　岡山大教養部
丹後俊郎　国立公衆衛生院
富山廣典　常盤大人間科学部
植木　武　共立女子短期大学
植野和文　兵庫県企画部
海野道郎　東北大文学部
薬師寺泰蔵　慶応大法学部
吉野諒三　統計数理研究所

▼運営委員（ｱｲｳｴｵ順）

石塚智一　大学入試センター
市川伸一　東工大総合理工学研
市川雅教　東京外国語大
岩坪秀一（＊）　大学入試センター
海野道郎　東北大文学部
柏木宣久　統計数理研究所
杉戸清樹　国立国語研究所
杉山明子　東女大現代文化学部
垂水共之　岡山大教養部
辻本英夫　大阪市立大文学部
野嶋栄一郎　早大人間科学部
馬場康維　統計数理研究所
林峻一郎　北里大衛生学部
星　守　千葉大工学部
水田正弘　北大工学部
村上　隆　名大教育学部
柳原良造　ﾏｰｹｯﾃｨﾝｸﾞ・ｻｰﾋﾞｽ
米田正人　国立国語研究所

会員数

（1991年8月19日現在）

名誉会員	1名
正会員	1,007名
準会員	54名
賛助会員	26名

編集後記：

各種委員が揃いました。これから３年間よろしく。次号に、会員の著書リストを掲載します。本を1990年以降に出版した方は、著者・書名・出版社・発行日を編集（Fax 03-3262-8806）まで、お知らせ下さい。（め）